

公益財団法人かめのり財団
2022（令和4）年度事業計画
2022年4月1日～2023年3月31日

I 基本方針

定款にうたわれる3つの柱

1. 高校生交換留学および大学院アジア留学生への奨学事業
2. 青少年の交流および言語教育支援を助成する国際交流事業
3. それらを推進するために、かめのり賞の顕彰、講演・シンポジウム等
その基盤支援事業

を実施することにより、日本とアジア・オセアニア諸国との相互理解・国際理解の促進を図る。

II 重点施策

弊財団の「次なる10年の方針」に沿って若い世代の育成について以下の点を重視した事業展開を行う。

- 前向きにチャレンジし続ける「かめのりスピリット」をもつ若い人々の育成
- 異なる文化の人々と信頼関係を築き協働できる若い人々の育成
- ゼロから考え創る力をもつ若い人々の育成

また、若い世代が自ら育つ環境づくりのため、次の点を考慮に入れた事業の実施に取り組む。

- アジア・オセアニア地域、特に中国、韓国、東南アジアを理解する日本の青少年の育成
- お互いの理念や目的を尊重し、協働できるパートナーとの事業展開

A 奨学事業（日本とアジア地域の懸け橋、特に高等教育レベルのグローバル人材の育成をめざす）

1) 高校生交換留学支援事業（長期）

本事業に関しては、同窓会に向けて過去の事業参加者の追跡調査をおこなう。

2) 大学生留学支援事業

かめのり大学院留学アジア奨学生を新規に2名採用し、計7名の学生に支援する。奨学生には月額20万円を支給し、春にはオリエンテーション及びOBOGを交えた懇談会、夏に大学院生の研修交流会を行い、より奨学生との面会の機会を増やし、サポートの強化を図りたい。

B 国際交流事業（異文化理解の学習実践の場として、特に日本人中高生への交流機会の提供を重視する）

1) 青少年交流事業

コロナ禍で未だ海外への派遣、国内での受入事業が難しい状況であるため、渡航が可能になっ

た段階で、海外との交流事業を安全かつ健康に留意して再開したいと考える。

自主事業として日本の青少年を対象とする海外への派遣事業の実施を見合わせる。かめのり財団独自の事業として日本とアジアからの大学生を対象とした国内研修事業「かめのりカレッジ」は2021年度の報告会と15周年事業「かめのりカレッジ2022」を実施する。

また、2020年度にパイロット事業として計画し延期となっている「東南アジア高校生招へい事業」を国際交流基金関西国際センターと共催で2022年度は実施したい。

国際交流助成事業は、2021年度実施した緊急支援プロジェクト助成の2年目の助成金支給に加えて、事業活動とともにその担い手の人材育成を含めた新たな助成事業を検討し、実施する。また、2021年度に実施したベトナムにおけるNGO人材の育成に関する調査の報告会を行う。

2) 海外日本語教育サポート事業

(独)国際交流基金との共催事業の「にほんご人フォーラム」事業は2012年から10年間の事業の総括と今後の事業方針の検討を行う。また、東南アジア5カ国(インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア)国内で行う「にほんご人フォーラム」関連事業を支援する。あわせて、当該拠点の日本語専門家等を対象とした勉強会を実施する。

また、(独)国際交流基金ベトナム日本文化交流センターの「ベトナム初中等日本語教育教科書作成・整備事業」等、中等教育レベルの日本語教育事業に助成する。

C 基盤支援事業

財団の理念の実現を協働できるパートナーの発掘、支援、顕彰の場と考える。

1) 講演会・シンポジウム事業

2022年度は、アジアの文化、社会や異文化交流のみならず、グローバル人材の育成をテーマに、新たな形での講演会、セミナー、ワークショップを実施したい。オンラインでグローバル人材育成のための教師対象のワークショップと中高生を対象としたセミナーを実施する。

2) かめのり賞事業

第16回かめのり賞はかめのり大賞2部門(草の根部門、人材育成部門)、かめのりさきがけ賞、計4団体・個人までの顕彰をする。将来を見据えた、地道な努力で心の絆を深め、相互理解に貢献している団体・個人の活動を評価したいと考える。

D その他

1) 広報活動の強化とネットワーク作り

ホームページやニュースレターの充実を図りつつ、当財団の事業、活動を広く海外へも広報するよう、「かめのりコミュニティ」の発行を年3回行う。また、設立15周年を機に、オンライ

ン・アプリケーションや寄付機能も含めたホームページに全面改訂する。

奨学生および関係団体と継続的に関係をつなげるべくツールの見直しをし、設立 15 周年記念事業に合わせデータベースの整備や、かめのり財団の奨学生および財団事業に参加した OB・OG が主導しての同窓会・ネットワークの構築をする。

2) IT の整備

ホームページの大幅な改訂やオンライン・プログラム等に対応できるインターネット環境の整備が必要となり、サーバー、専用回線等 IT 環境の整備・充実をはかる。

3)15 周年記念事業

コロナ禍で 1 年延期した、かめのり財団設立 15 周年事業を当初の計画から一部変更して、次の 5 つの事業を実施する。①設立 15 周年記念かめのりフォーラム、②かめのり同窓会、③かめのりカレッジ 2022、④かめのり未来を創るリーダーシップ・プロジェクト（仮称）⑤連続セミナーを実施する。「かめのり未来を創るリーダーシップ・プロジェクト」は日本に在住する外国人も含め高校から大学レベルの青少年を対象としたリーダーシッププログラムを新たに開発し、ライフスキル教育で実績のある（特）青少年育成支援フォーラムへの委託事業として実施する。

以上